



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社マイスターエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 4695 URL http://www.mystar.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 竹内 良典 (TEL) 03-6756-0311
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 4,344 | 2.7 | 112 | △41.6 | 132 | △37.8 | 68 | △71.6 |
| 30年3月期第1四半期 | 4,229 | △4.3 | 193 | △20.0 | 213 | △14.5 | 240 | 56.1 |

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 105百万円(△27.5%) 30年3月期第1四半期 145百万円(19.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 8.66 | — |
| 30年3月期第1四半期 | 30.72 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 12,005 | 7,919 | 64.6 |
| 30年3月期 | 12,634 | 7,908 | 61.3 |

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 7,752百万円 30年3月期 7,745百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 5.00 | — | 13.00 | 18.00 |
| 31年3月期 | — | — | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 13.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,000 | 2.5 | 260 | △36.3 | 270 | △37.4 | 170 | △55.4 | 21.52 |
| 通期 | 19,000 | 1.7 | 780 | 2.2 | 800 | 1.0 | 500 | △14.5 | 63.31 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期1Q | 9,125,000株 | 30年3月期 | 9,125,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期1Q | 1,206,151株 | 30年3月期 | 1,226,791株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期1Q | 7,902,673株 | 30年3月期1Q | 7,844,712株 |

(注) 従業員持株会支援信託E S O P (31年3月期1Q 35,300株、30年3月期 52,800株)及び役員報酬B I P信託(31年3月期1Q 113,532株、30年3月期 116,672株)が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。また、従業員持株会支援信託E S O P (31年3月期1Q 48,613株、30年3月期1Q 99,475株)及び役員報酬B I P信託(31年3月期1Q 116,394株、30年3月期1Q 123,494株)が保有する当社株式を、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の保護主義的な貿易通商政策や、東アジア及び中東地域における地政学的リスク等の先行き不透明感があるものの、引き続き企業収益や雇用・所得環境が改善し、緩やかな景気回復基調が継続いたしました。

このような経済環境の中、当社グループは、メンテナンス&エンジニアリングを事業領域に設定し、これまでに培った高い技術力やお客様との信頼関係を基盤に、お客様の多様な課題解決に対するソリューション力のより一層の強化を図り、「日本の産業・社会インフラを支えるナンバーワン必須技能・技術者集団」として、企業価値向上に努めてまいりました。

メカトロ関連事業におきましては、引き続き、半導体・液晶の製造装置関連の設計・FEサービスが好調に推移し、自動車関連についても好調な市況継続により稼働増加となりました。またエンジニアリング部門では食品関連の画像検査装置の製造・販売が好調に推移いたしました。

ファシリティ関連事業におきましては、提案型営業による受注強化を進め、ホテルの総合管理業務、既存及び新規のお客様からの工事案件等の受注が堅調に推移いたしました。

コンテンツサービス事業におきましては、主軸のホール関連事業が堅調に推移する中、放送技術関連事業では4K・8Kといった新たな技術分野への基礎固めを行ない、またイベント関連事業につきましては、大型イベント案件の受託に加え、関係の深いクライアントとの協力体制を強化し、継続性の高い業務への転換・拡大を図り好調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,344百万円（前年同期比2.7%増）となりました。また、当第1四半期連結累計期間において人事管理・会計等新たな経営基幹システムの導入や人材採用強化等の、当社グループの将来に向けた戦略的投資を積極的に行った結果、各報告セグメントに帰属しない一般管理費（全社費用）が増加した影響により、営業利益は112百万円（前年同期比41.6%減）、経常利益は132百万円（前年同期比37.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同期比71.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は12,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ629百万円減少いたしました。流動資産は7,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ725百万円減少いたしました。主な要因は、未成工事支出金の197百万円の増加、受取手形及び売掛金の577百万円の減少及び現金及び預金の431百万円の減少等であります。固定資産は4,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加いたしました。主な要因は、差入保証金の94百万円の増加等であります。当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,086百万円となり、前連結会計年度末に比べ639百万円減少いたしました。主な要因は、賞与引当金の302百万円の減少及び買掛金の224百万円の減少等であります。当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は7,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。主な要因は、自己株式の処分等による10百万円の増加等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,134,067 | 4,702,956 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,224,147 | 2,647,008 |
| 未成工事支出金 | 152,681 | 350,438 |
| 仕掛品 | 28,723 | 44,485 |
| 原材料及び貯蔵品 | 26,153 | 31,710 |
| その他 | 172,914 | 227,624 |
| 貸倒引当金 | △13,684 | △5,070 |
| 流動資産合計 | 8,725,002 | 7,999,153 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 976,741 | 949,858 |
| 土地 | 1,081,261 | 1,081,261 |
| その他(純額) | 167,560 | 167,124 |
| 有形固定資産合計 | 2,225,563 | 2,198,244 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 15,351 | 10,234 |
| その他 | 63,964 | 72,280 |
| 無形固定資産合計 | 79,315 | 82,514 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 376,149 | 419,216 |
| 破産更生債権等 | 14,468 | 11,643 |
| 差入保証金 | 183,288 | 277,563 |
| その他 | 1,059,334 | 1,041,376 |
| 貸倒引当金 | △28,845 | △24,479 |
| 投資その他の資産合計 | 1,604,395 | 1,725,319 |
| 固定資産合計 | 3,909,274 | 4,006,079 |
| 資産合計 | 12,634,276 | 12,005,232 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,275,429 | 1,051,113 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 798 | — |
| 資産除去債務 | 19,682 | 19,721 |
| 未払法人税等 | 237,784 | 44,432 |
| 賞与引当金 | 508,018 | 205,661 |
| その他 | 1,128,295 | 1,205,984 |
| 流動負債合計 | 3,170,007 | 2,526,915 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 300,000 | 300,000 |
| 役員株式給付引当金 | 15,625 | 23,515 |
| 退職給付に係る負債 | 958,544 | 951,131 |
| 資産除去債務 | 36,933 | 37,037 |
| 預り保証金 | 117,638 | 113,196 |
| その他 | 126,911 | 134,347 |
| 固定負債合計 | 1,555,654 | 1,559,228 |
| 負債合計 | 4,725,662 | 4,086,144 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 981,662 | 981,662 |
| 資本剰余金 | 968,581 | 968,581 |
| 利益剰余金 | 6,393,125 | 6,356,704 |
| 自己株式 | △689,015 | △678,373 |
| 株主資本合計 | 7,654,352 | 7,628,574 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 117,681 | 146,818 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △26,571 | △23,380 |
| その他の包括利益累計額合計 | 91,110 | 123,437 |
| 非支配株主持分 | 163,151 | 167,077 |
| 純資産合計 | 7,908,614 | 7,919,088 |
| 負債純資産合計 | 12,634,276 | 12,005,232 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,229,965 | 4,344,045 |
| 売上原価 | 3,495,517 | 3,646,008 |
| 売上総利益 | 734,447 | 698,036 |
| 販売費及び一般管理費 | 541,031 | 585,105 |
| 営業利益 | 193,416 | 112,931 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 150 | 123 |
| 受取配当金 | 2,319 | 2,114 |
| 貸倒引当金戻入額 | 5,948 | 11,784 |
| その他 | 12,752 | 6,373 |
| 営業外収益合計 | 21,171 | 20,396 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 379 | 332 |
| その他 | 897 | 378 |
| 営業外費用合計 | 1,276 | 710 |
| 経常利益 | 213,311 | 132,617 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,862 | 287 |
| 投資有価証券売却益 | 149,508 | — |
| 特別利益合計 | 152,371 | 287 |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | — | 5,049 |
| 特別損失合計 | — | 5,049 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 365,682 | 127,855 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 50,558 | 46,894 |
| 法人税等調整額 | 71,279 | 7,775 |
| 法人税等合計 | 121,837 | 54,670 |
| 四半期純利益 | 243,845 | 73,184 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,849 | 4,725 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 240,995 | 68,458 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 243,845 | 73,184 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △103,567 | 29,136 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,276 | 3,190 |
| その他の包括利益合計 | △98,290 | 32,326 |
| 四半期包括利益 | 145,554 | 105,511 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 142,705 | 100,785 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,849 | 4,725 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。